

CONTENTS

シビル NPO 連携プラットフォーム／since2014

CNCP 通信

VOL.134／2025.6.5

■今月の土木■



▼土木のはなし

▽身近な土木

・選奨土木遺産：銭千貫文で
築造した「千貫樋」
：田中努

・子どもが知りたい土木の
世界を発見！（ぬりえ）「赤
水門（旧岩淵水門）」
：土木と市民社会をつなぐ
フォーラム

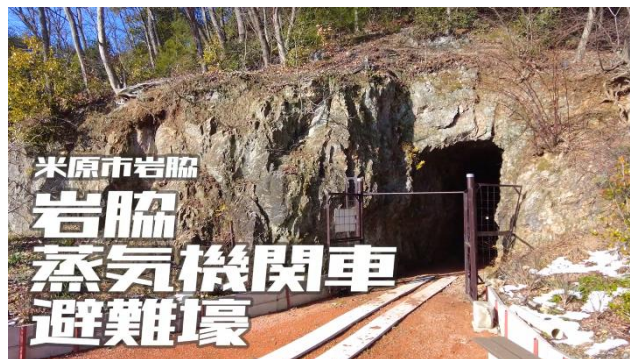
▼会員紹介

・『水辺劇場都市“にいがた”
構想』信濃川を中心とした
2050 年に向けた新たなま
ちづくり：高橋邦夫

▼事務局通信

【上】避難壕の内部。延
長：約 130m、断面：
幅最大約 3m×高さ最大
約 5m。トンネルの下半
部は貫通しているが、終
戦になり上半部は途中ま
で。

【右】避難壕の入口。こ
れの左に中央に未貫通部
分約 30m を残した壕が
1 本ある。



■米原市「岩脇（いおぎ）蒸気機関車避難壕」

JR 米原駅は、東海道本線と北陸本線が分岐する交通拠点で、太平洋戦争では軍事的にも重要な輸送拠点でもあったそうです。戦争末期、空爆から蒸気機関車を守るために、米原駅の北東にある岩山、岩脇山（標高 120m）に、南北方向に 2 本の避難壕が掘られました。工事開始後、終戦まで 1 年半もなかったために完成せず、使用されることはありませんでした。現在は、滋賀県初の戦争遺跡として、米原市の指定文化財として登録され、「岩脇まちづくり委員会」の手で整備され、保存されています。（雲林院ゆみ）

・【土木遺産の女】岩脇蒸気機関車避難壕

<https://www.webaminchu.jp/news/6074/>

・まいばらんど | 米原市観光ポータルサイト

<https://maibarand.shiga.jp/train-shelter/>

